

ガス系消火薬剤の比較表

消火剤種別		IG-541	二酸化炭素	ハロン1301
消火原理		酸素濃度希釈	酸素濃度希釈及び冷却	燃焼連鎖の反応抑制
人体 安全性	消火ガス自体	※2 無害	※1 8%以上で中毒の 危険あり	無影響濃度 NOAEL: 最高5% 毒性濃度 L OAEL: 最小7%
	NFPA記号	IG-541	CO <sub>2</sub>	BFC-1301
消火 ガス 諸	成分等	窒素52%二酸化炭素 8%アルゴン40%の混 合物	二酸化炭素100%	炭素・フッ素・臭素の化 合物
	臭い	無臭	無臭	無臭
	システム商品名	イナーゼン	—	—
	オゾン層破壊係数	0	0	10
地球温暖化係数		0.08	1	4900

略) 無影響濃度 NOAEL: 人がガスにさらされた時、何の変化も観察できない最高濃度

無毒性濃度 LOAEL: 人がガスにさらされた時、何らかの毒性又は生理的变化を観察しうる最低濃度

注) 消火剤の種別により、設置できない場所が法令で規定されている。

※1 3%濃度から、頭痛、めまい等の症状が現れる。

※2 高濃度になれば、中毒症状があらわれる。

各数値等は、評価書、メーカーカタログ等を参照して作成したものであり、参考資料としてください。